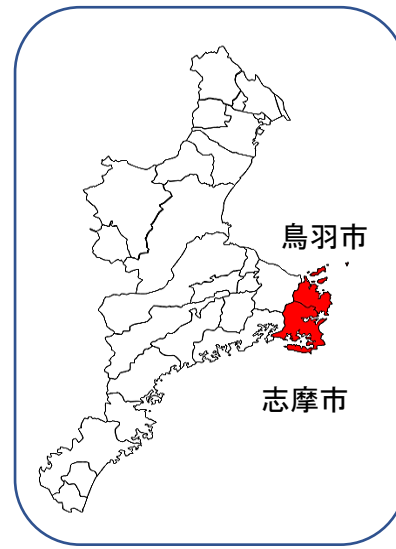


三重県鳥羽・志摩地域

鳥羽・志摩地域には、リアス海岸を特徴とした豊かな自然と美しい景観が残されています。陸域からの栄養は海に流れ込み、外海域の豊かな藻場では海女漁業が1200年以上前から営まれ、内湾域では豊富な植物プランクトンを利用して真珠養殖業が営まれています。



鳥羽・志摩の

海女漁業と真珠養殖業

—持続的漁業を実現する里海システム—

海と共に生きる。

志摩半島 英虞湾の風景

(写真提供:一般財団法人伊勢志摩国立公園協会)

持続的漁業を実現する 里海システム



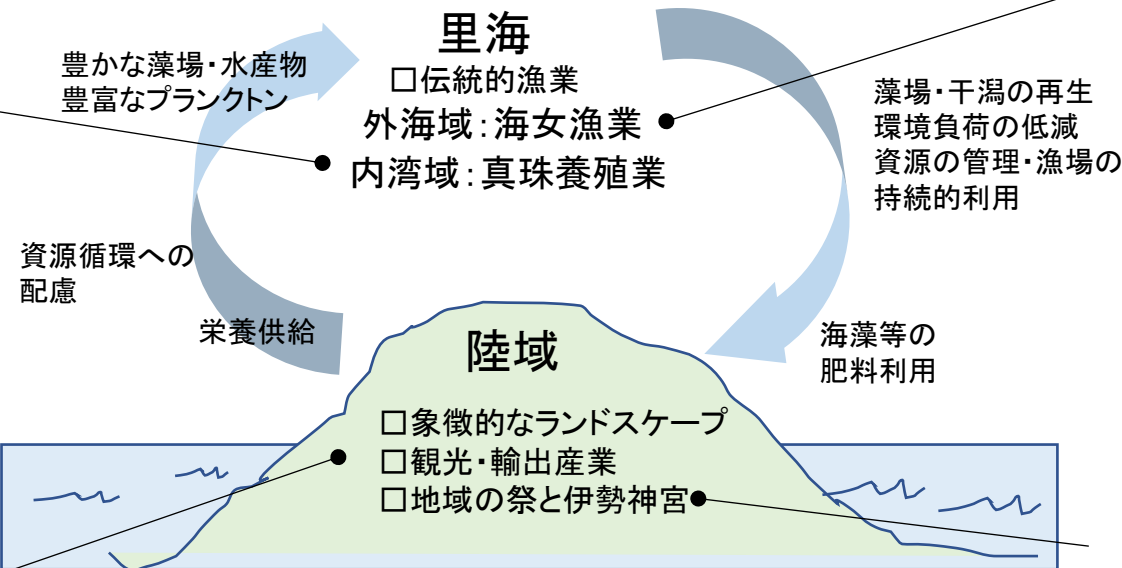
美しい景観

英虞湾のリアス海岸と真珠養殖の風景は地域の重要な景観資源です。



情報発信

2016年に開催された伊勢志摩G7サミットで提供された真珠のラペルピンには伝統技術で生産された真珠が使用されています。



自然と人間との共存関係の次世代への継承



伝統漁業の継承

豊かな藻場では素潜りでアワビやサザエなどを漁獲する海女漁業が営まれており、地域の女性の働く場所となっています。



文化の形成

伊勢神宮との関わりも深く、熨斗鮑と真珠は伊勢神宮への重要な献納品です。

日本農業遺産認定による効果

海女漁業・真珠養殖業

【生産物の収益拡大、高付加価値化・ブランド化】

- ・海女漁業漁獲量向上のためにアワビ種苗放流に取り組んでいます。また、海女漁獲物ブランド「海女もん」の普及啓発等は販路拡大につながっています。
- ・真珠養殖業においては、国内外からの視察の受け入れ、展示会での真珠PRおよびイベントでの真珠PRを通じ、三重県産真珠の魅力を発信しています。



- ・アワビ生産額(三重県): 約3.3億円(H24-28平均)⇒約2.5億円(R4-R6平均)
- ・真珠生産額(三重県): 約27億円(H24-28平均)⇒約37億円(R4-R6平均)
- ・クロアワビ種苗生産数: 84千個(H24-28平均)⇒202千個(R4-R7平均)
- ・海女もん年間売り上げ: 2,280千円(H28)⇒3,576千円(R4-R7平均)

観光連携

【観光客増加、ツアーの実施】

- ・海女漁業と真珠養殖業は、里海の漁業として、地域固有の美しい景観や豊かな生物多様性の保全、文化の形成にも貢献しており、観光業等の多くの地域産業を支えています。



- ・海女小屋体験利用者数: 6682人(H28)⇒11,385人/年(R4-R7平均)
- ・真珠養殖場見学ツアーの受け入れ: 23人(H28)⇒33人/年(R5-R7平均)
- ・一般向け真珠講座の受講者数: 166人(H28)⇒706人/年(R5-R7平均)

里海の保全、景観保全

【保全活動の活性化】

- ・生物多様性の保全を図るため、近年減少している藻場の造成等に取り組んでいます。
- ・真珠養殖業においてこれまで未利用であった貝肉の堆肥化に取り組んでいます。



- ・藻場造成面積: 5.86ha(H28)⇒52.3ha(R7)
- ・真珠養殖副産物(アコヤガイの貝肉)の堆肥化地区数: -(H28)⇒7地区(R7)
- ・海女小屋等の整備: -(H28)⇒43(H29-R7)

次世代への継承

【祭事の保全、担い手への技術支援】

- ・地域の祭りには自然への感謝、豊漁や安全への願いが存在し、海女や真珠養殖業者が中心的な役割を果たしています。
- ・海女漁業、真珠養殖業ともに高齢化が進行しており、技術を継承していくため、後継者育成に取り組んでいます。



- ・海女及び真珠関連の祭行事の開催件数: 海女22件、真珠1件(R7)
- ・真珠塾による後継者育成: 累計0名(～H28)⇒累計9名(～R7)
- ・漁師塾による後継者育成: 累計5名(～H28)⇒累計8名(～R7)